

令和3年度市町村保健事業担当者ブロック別研修会開催レポート

開催日・会場	①北部ブロック	令和3年	5月13日(木)	熊谷地方庁舎
	②南部ブロック	令和3年	5月18日(火)	With You さいたま
	③東部ブロック	令和3年	5月25日(火)	春日部地方庁舎
	④西部ブロック	令和3年	6月1日(火)	ウェスタ川越

今年度のブロック別研修会は、『高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施』をテーマに、埼玉県保健医療部国保医療課と合同開催、埼玉県国民健康保険団体連合会と共催で開催したところ、県内50市町村から75人、県保健所等から12人、計87人の職員が参加しました。

○講義 『国保データベース（KDB）システム活用の実際について』



国保連合会 保健課調査研究係 松本係長

講義では、埼玉県国民健康保険団体連合会保健課調査研究係長の松本氏に、講義を行っていただきました。一体的実施で特に必要な項目の説明や、事業対象者の抽出から評価方法までご説明いただいたことで、KDBに対する参加者の理解も深まりました。市町村への個別支援のお話や、統計データの提供により、KDBに対する不安が少し解消されたのではないのでしょうか。

○グループワーク

後半は、昨年度の研修に引き続き、文京学院大学の米澤純子教授を講師に迎え、PDCAサイクルや事業評価などについて話題提供をいただき、グループワークを行いました。事業の取組状況によって悩みなどはそれぞれですが、庁内連携や事業の進め方など、グループワークで情報交換を行いました。すでに事業を実施している市町村の方にとっては、事業評価の考え方など、今後の業務の参考になったのではないのでしょうか。

一体的実施は、地域の高齢者の介護予防・健康づくりのための制度です。広域連合では、市町村や県国保医療課、国保連合会とも連携し、一体的実施を推進してまいります。



文京学院大学 米澤純子教授



参加者の声（アンケートから抜粋（要約））

- ・関係課と連携の際、KDBから抽出した指標を共有し、一体的実施に向けて準備をしたい。
- ・一体的実施を進めるにあたって、課題になっていた「連携」「評価方法」などについて、現実的なレベルで進め方を教示いただき、大変参考になった。
- ・アウトカム評価と目標の連動性についてとても分かりやすかった。段階的な評価指標をたて事業実施したい。
- ・評価指標の設定をふりかえることができた。今年度の事業の評価指標の設定に役立て、よりよい計画書を提出したい。
- ・他の市町村も同じようなことで悩み、もどかしさを感じていることがわかった。
- ・今後情報交換ができそうな方たちと顔見知りになれてよかった。